

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第258回

五郎丸 歩

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和3年6月21日

編集委員：入試広報室 鈴木

今回の言葉

諦めることは簡単ですが、

諦めて得られるものは後悔だけです。

五郎丸 歩は、日本の男性ラグビーユニオン選手である。2歳年上の兄、五郎丸亮もコカ・コーラレッドスパークスで活躍したラグビー選手である。



Column

つい先日、惜しまれながら引退を発表した日本ラグビー界が誇るスター選手です。2015年に日本で開催されたラグビーワールドカップでの日本代表チームと活躍した五郎丸選手のキックの時のルーティーンワークに注目が集まり、一躍『時の人』となったことが記憶に新しいところです。

よく、“後悔しないように”と言われることや、自分でそう考えることがあると思います。しかし、それと同時に全てのことを諦めずに全力で同時進行していく難しさにも直面します。そんな心の葛藤を、みなさんもこれまでに何度となく経験してきたことでしょう。私もその一人であり、今でも思い返しては当時の自分を悔いることがあります。

五郎丸選手が言う『諦める』とは、『安易な妥協』を指すのではないかと私は考えました。妥協とは、“利害や主張が対立している場合に双方が折り合いをつける”という意味です。諦めずに頑張るべきだと考えている自分と、辛い思いや面倒なことはしたくない自分との対立に『トライしない』という形で折り合いをつけるのであれば、諦めるではなく安易な妥協ですから、それは後悔を生むだけだということが理解できます。しかし、頑張るべきだと感じているポジティブな自分の気持ちに蓋をしてしまうことや、辛いことから逃げたいというネガティブな自分の気持ちを隠してしまうことなど、諦めるということを“あたかも”安易な妥協ではなく『仕方がない』という結論に結びつける理由づけはいくらでもできてしまうことから、まずは諦めることと妥協することの“区別”をつけられるようになる必要があります、『自分に嘘をつかない』ということが最重要であると感じました。

区別が難しいという意味では、そんな仲間に対しての寄り添い方の判断も非常に難しいということになります。『諦めずに頑張れ!』と、仲間のために敢えて厳しい言葉を投げかけるべきなのか、『仕方がないことだ』と、諦めてしまった罪悪感を少しでも一緒に背負ってあげるべきなのか…。仲間への思いが強ければ強いほど、その判断は慎重になってしまうのかもしれませんが。そして、注意すべき点として『自分も諦めた方がいいのかもしれない…』と、ネガティブな方に向いてしまうことや、『絶対に諦めるわけにはいかない!』と、自分自身に過度なプレッシャーをかけすぎてしまうことも心に留めておくべきでしょう。そういった“判断ミス”を一つでも減らすためにもコミュニケーションは必要なのだと思えます。大切な仲間と誇れるような自分、互いにパワーを与え合うような素晴らしい人間関係の構築を目指し、後悔のない未来創造のために正智深谷高校でどんどん挑戦していきましょう!